

# 北海道学び推進月間の取組

根室教育局  
令和2年12月3日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

## ○ 北海道春の学び推進月間の取組

### 学習評価の充実をテーマとした校内研修会の開催

北海道羅臼高等学校では、4月5日、「生徒の学びの深まりを把握するためのルーブリック評価」について研修会を行いました。

研修会では、学校長から学習評価に関する基本的な考え方について説明した後、学校長が試作した学校設定科目「知床概論Ⅰ」「知床概論Ⅱ」のルーブリックを例に、教員がルーブリックについて理解を深めました。教員からは、「授業者と生徒の双方で目標や到達度を共有することができる」「生徒の伸びを測ることができるとともに、自身の授業改善にも生かすことができる」といった声が寄せられました。

今年度は、各教科においてルーブリックを試作し、ルーブリックによる評価を試行します。また、次年度はシラバスにルーブリックを掲載し、全校で活用する予定です。



【研修会の様子】

## ○ 北海道秋の学び推進月間の取組

### 日本遺産「鮭の聖地」の命をつなぐ学習

標津町立標津小学校では、総合的な学習の時間を中心に日本遺産に指定された「サケ学習」をテーマとして学習しています。

11月13日には、第6学年児童（以下、児童）が「鮭の人工授精体験」を行いました。児童は、サーモン科学館の職員が人工授精をしている様子を見たり、受精卵に触れて、受精前後の感触の違いなどを確認したりしました。

この鮭は、児童が第2学年の時に放流しました。数年の時を経て、大きくなって川へ戻り、命をつなぎます。この日、人工授精をした鮭の新しい命は、現在の第2学年児童が放流します。「鮭」を学習のテーマとして、命の大切さについて考えるとともに、ふるさとに対する愛着と誇りをもつことができました。



【人工授精の様子】

## 「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 別海町立上春別中学校1年 石尾 紗英 さん  
「切り開け 学びを道を 君の手で」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 別海町立上春別小学校6年 前嶋 星来 さん  
「学習で 無限の種が 開花する」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 根室市立落石中学校2年 井上 青葉 さん  
「探す 見つける 実行する」

今年度もたくさんのお作品を応募いただきありがとうございました。